

特区の目標

- アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成し、先端技術集約型産業である「航空宇宙産業」を振興するとともに、自動車に続く次世代産業として育成し、**「技術立国・日本」の成長・発展を牽引**することを旨とする。

現在の指定区域及び変更対象

※赤字は今回新規追加が生じる市町村
※青字は今回変更が生じる市町村

- 長野県 岡谷市、飯田市、諏訪市、**伊那市**、駒ヶ根市、茅野市、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、飯島町、松川町、高森町、喬木村、豊丘村
- 岐阜県 岐阜市、大垣市、**関市**、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、郡上市、海津市、笠松町、垂井町、神戸町、輪之内町、**安八町**、大野町、坂祝町、川辺町、御嵩町
- 静岡県 **浜松市**、**島田市**、富士市、磐田市、焼津市、**掛川市**、清水町
- 愛知県 名古屋市長、豊橋市、岡崎市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、**碧南市**、安城市、西尾市、**蒲郡市**、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、**知立市**、尾張旭市、豊明市、日進市、愛西市、**清須市**、北名古屋市長、弥富市長、みよし市長、あま市長、豊山町、大口町、蟹江町、飛島村
- 三重県 津市長、四日市市長、伊勢市長、松阪市長、**桑名市長**、鈴鹿市長、亀山市長、**いなべ市長**、伊賀市長、木曾岬町、東員町 一部の区域

区域変更の必要性

- ボーイング787の大幅な増産、MRJの量産開始、ボーイング777Xの生産開始、H3ロケットの試験機初号機の実機製作着手などに対応するため、航空機部品や宇宙機器を生産する中小企業等の生産能力拡充が必要。

現在実施している主な事業及び変更区域で行う事業

- **ボーイング787等量産事業**
 - ・ **ボーイング787等に使用される部品の製造**
 - ・ 複合材料を使用した航空機の機体の研究開発
- **MRJプロジェクト事業**
 - ・ **MRJに使用される部品の製造** ・ MRJ機体の組み立て
- **ボーイング777X開発・量産事業**
 - ・ **ボーイング777Xに使用される部品の製造**
- **宇宙機器開発・供給事業**
 - ・ **基幹ロケットをはじめとする宇宙機器の開発・供給** ※赤字は変更区域で行う事業

区域変更により期待される効果

- 機体メーカー・ロケットメーカーを支える中小企業の設備投資が促進され、ボーイング787等量産事業、MRJプロジェクト事業、ボーイング777X開発・量産事業、宇宙機器開発・供給事業の円滑な推進に寄与

特区の目標値と29年度実績

- (1) 中部地域における航空宇宙産業の生産高【進捗度113%】
(代替指標) 平成29年目標値7,000億円、平成29年実績値7,925億円
- (2) 中部地域における航空機・部品の生産高【進捗度113%】
平成29年目標値7,000億円、平成29年実績値7,925億円
- (3) 中部地域における航空宇宙産業雇用者数【進捗度92%】
(代替指標) 平成29年度目標値11,110人日、平成29年度実績値10,254人日
- (4) 中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数【進捗度175%】
平成29年度目標値16件、平成29年度実績値28件

変更区域において活用する予定の支援措置

- 規制の特例措置(工場等の新增設における緑地面積率等の特例)(検討中)
- 税制支援 (設備投資減税)
- 金融支援 (利子補給金)

ボーイング787



ボーイング777X



H3ロケット



MRJ(三菱リージョナルジェット)



画像提供: ボーイング社、三菱航空機(株)、JAXA